

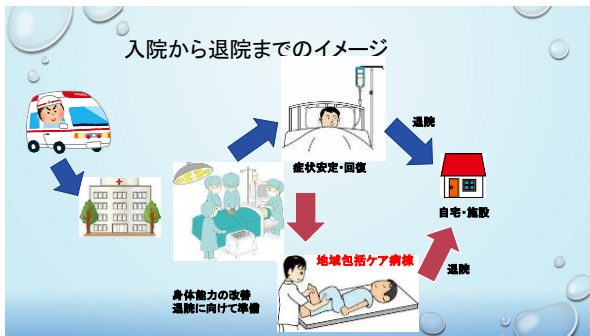
3階南 地域包括ケア病棟始めました！

～お家へ帰ろう！～

地域連携室 大崎明美
(平成27年3月19日 オープンカンファレンス資料・抜粋)

3階南が11月から地域包括ケア病棟に変わりました

- ・地域包括ケア病棟は厚生労働省が進める「**地域包括ケア**」をささえる病棟です
- ・この病棟は・・・
 - ①高度急性期病院や急性期病棟で治療をうけ、状態は改善したがもう少し経過観察が必要な方
 - ②在宅復帰のため療養の準備が必要な方（退院準備）
 - ③在宅療養中の方で重症ではない、一定期間の治療・入院が必要な方が対象
- ※ 個室・準特室・特室・大部屋・・・51床



急性期（一般）病棟との違い

- ・「**在宅復帰支援計画**」に基づき退院後安心して生活していただけるよう
 - サービス体制の整備
 - 患者さまの機能訓練のサポート
 - 生活のアドバイス（介護指導）

など、スタッフ全員で取り組んでいます

退院がゴールではなく、**退院後の療養や生活の継続に視点を**おいた看護・ケアを目指しています

退院前カンファレンスの風景

訪問看護師
担当
MSW
ケアマネジャー
息子さんご夫婦

※適切な時期にご家族・地域のサポートスタッフを交えてカンファレンスを行っています

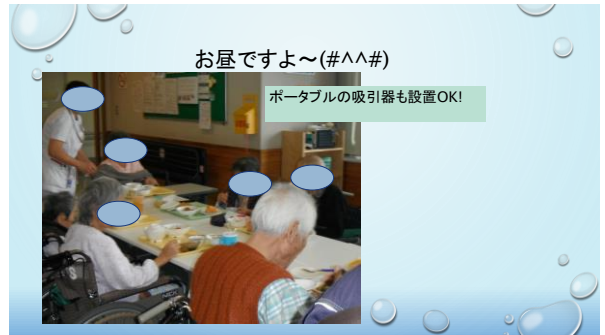
★「医療⇒生活」への無理のない移行をめざし、生活の視点に立って考えます

朝のベッドコントロール

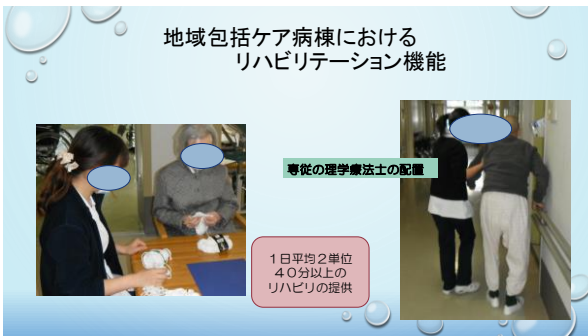
回診の様子



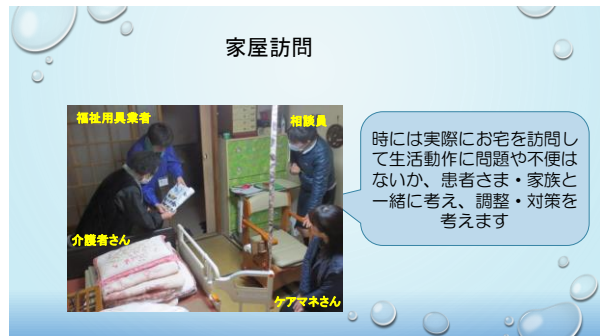
お昼ですよ～(#^^#)



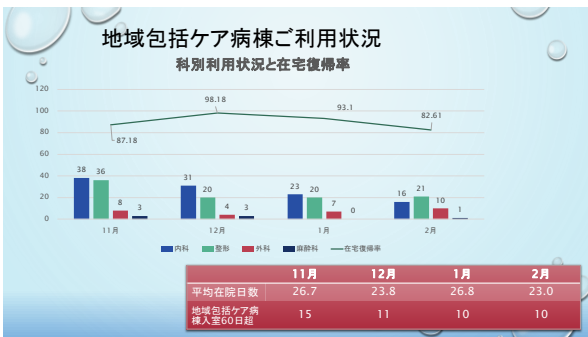
地域包括ケア病棟における リハビリテーション機能



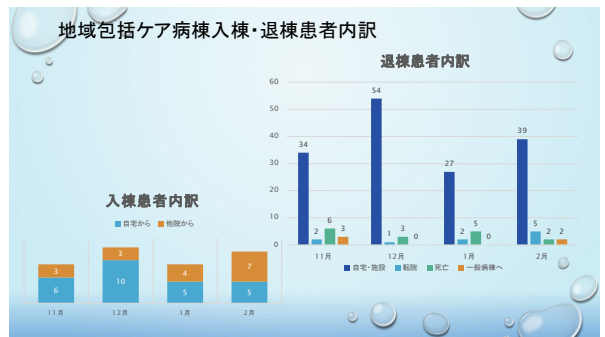
家屋訪問



地域包括ケア病棟ご利用状況 科別利用状況と在宅復帰率



地域包括ケア病棟入棟・退棟患者内訳



医療は病院完結型から地域完結型へ

病氣や障がいを持ちながら生活の中でQOLの最大限の発揮を目指す

医療は在宅生活を送るためのバックアップの役割
できるだけ早く在宅に帰れる状態にする/確実に繋ぐ

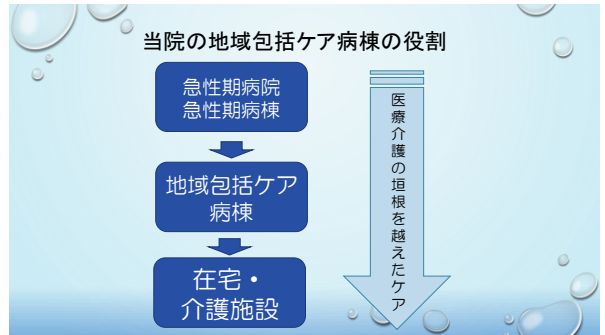
「治す医療」から「治し支える医療」へ

- 寿命の長さ → 生命の質
- 延命 → 尊厳ある死/人生を生き切る
- 病院死 → 地域での死
- 死なせない医療 → 生きるための医療

パラダイムシフトは必要であるが看護・ケアの質は変わらない！

暮らしと医療を切り離さず「その人らしく生きる」ことを支援

図：2014年2月13日 朝日新聞掲載



**「住み慣れた我が家に帰りたい」
を叶えるために・・・**

- ・急性期病院として在宅療養につなげるために
 - 『いかに地域の中で生活していける人を支えていくかという意識』
 - 『予防型アプローチ』
 - 『生活者を支える医療』

地域の方々のご理解をいただきながら地域での暮らしができるよう応援させていただきます。